

五郷地区合同運動会(9月24日実施)

今年も保護者や地域のみなさまに支えられながら、盛大に地区運動会が開催されました。子どもたちは競技や演技を精一杯がんばるとともに、準備や片付けなどの運営にも大活躍してくれました。地域の大きなイベントの中で活躍することは、子どもたちの主体性や協働性を育てるとともに、地域社会の一員としての自覚も芽生えさせてくれています。



防災学習会(保育所・小学校・中学校合同:10月3日開催)



今年も防災担当者や地震体験車に来てもらい、学習会を開催しました。今年は、五郷保育所の子どもたちも参加して、みんなで災害への備えを学びました。地震体験車で「地震のゆれ」は昨年も体験しましたが、いざという時に慌てず的確な行動がとれるよう、毎年繰り返して体で覚えていきたいと考えています。

交流学習(神上中学校合同:剣道)

10月は、体育の授業で必修となっている武道(剣道)を神上中学校の生徒とともに学んでいます。剣道の「礼」を重んじる精神とともに、まさかの時の護身術を身につけるため、実践を重視した練習にも取り組んでいます。写真は、両校の生徒が入り交じって「地稽古(じげいこ)」と言われる互いの技を出し合いながら闘う稽古をしているところです。



五郷中学校研究発表会(10月18日開催)

昨年度から熊野市の研究指定を受け、「確かな学力」の育成に取り組んできた内容を発表しました。本校では、この「確かな」が示すものとして、「習得した知識や技能である『学力』を、社会において生きる力として活用することができてこそ、『学力』は『確かな学力』といえる」と捉えています。毎日の学習をはじめ、小学校と連携した活動、地域と連携した行事などすべての教育活動を通して「確かな学力」の育成に取り組んできた内容を発表しました。当日は、研究授業として小学校5・6年生と中学校1・2・3年生全員による英語活動の授業も実施しました。(昨年度から本校の柴田先生が小学校において英語の出前授業を実施しています。)授業では中学生が小学生をリードしながら、「たばらして」の外国バージョンである「ハロウィン」を題材とした内容について学びました。子どもたちは、大勢の参観者のもとで少し緊張していましたが、生き生きとした表情で活動していました。

